

質 疑 回 答 書

工事名:横浜国立大学(峰沢)国際交流会館照明設備改修工事

※質疑文は、質疑書に記載いただいた原文をそのまま記載しています。

No.	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	全般	発生土はどのように処理いたしますか。 ・場内ご指示場所に敷き均し、または場外運搬処理でしょうか。 ・場外運搬処理の場合、指定の処理施設などございますか。	監督職員が指示した構内の指定場所に土を敷き均して処理する対応でお願いします。
2	全般	養生について 工事期間中、居室は空室になっているのでしょうか。 ベッド、机等がある場合、薄い透明ビニルで養生する程度、と 考えて宜しいでしょうか。	工事期間中、居室は空室と在室の部屋がそれぞれございます。 養生につきましては、ビニールで養生程度と考えています。
3	全般	アスベスト含有検査について 本工事は照明器具の取替工事であり建材に干渉しないためアスベスト 含有に対する事前調査、検査は省く事にしてよろしいでしょうか	宜しい。
4	全般	敷地内に現場代理人の常駐するプレハブ事務所などは設置できます か。 また作業員休憩所、資材保管用プレハブは設置できますか。 仮設トイレ、手洗いの設置はできますか。	仮設事務所等は、別図2の工事用地位置でお願いいたします。
5	全般	敷地内に発生材用コンテナは設置できますか。	別図2の記載コンテナ設置可能場所は可能です。
6	全般	照明器具取付材 既設の器具取付ボルト等は再使用可能と考えて宜しいでしょうか。	宜しい。
7	E-14	外灯基礎の扱いについて EX MA2は既設基礎そのまま ポール取替になっております。 既設のポールを撤去するには既設基礎も一緒に撤去する必要があります。 ポールのみ撤去は不可と思われます。既設基礎も撤去するの でしょうか。 MA3,MA5,MA7,MA8,MA9も同様です。	外灯のポール及び灯具の一式取替時はベースプレート式を採用し、既設基礎は 接着系アンカーで固定する施工でお願いいたします。



本工事建物：峰沢国際交流会館A棟

本工事建物：峰沢国際交流会館C棟

本工事建物：峰沢国際交流会館共用棟

※1 工事中は、通行者の安全に十分配慮し、交通誘導員を配置する等、適宜交通安全対策を行うこと。

※2  の工事用地を使用する際は、仮囲いを設置する等、周囲の安全に配慮すること。

※3 工事用地から、指定の工事用排水位置に配管接続する際、必要な勾配が確保できない場合、適宜動力ポンプ等を設置すること。

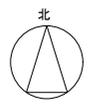
※4 工事中は電話引込が出来ない為、携帯電話を使用ください。

工事用地（コンテナ設置可能）

工事用地

本工事建物：峰沢国際交流会館B棟

横浜国立大学峰沢団地配置図



凡 例	
	本工事範囲
	工事用地 ※2 ※3
	工事用車輛経路
	工事用電力分岐位置
	工事用給水分岐位置
	工事用排水位置